

The background of the slide is a light gray gradient, decorated with numerous realistic water droplets of various sizes. Some droplets are large and prominent, while others are small and subtle, scattered across the top and bottom edges of the text area.

2021年7月7日(水)関西グローバルヘルスの集い
ソーシャル・ディスタンス
取り残された(る)のは、だれ？
話題提供：医療社会学の視点から

大阪大学人間科学研究科

山中浩司

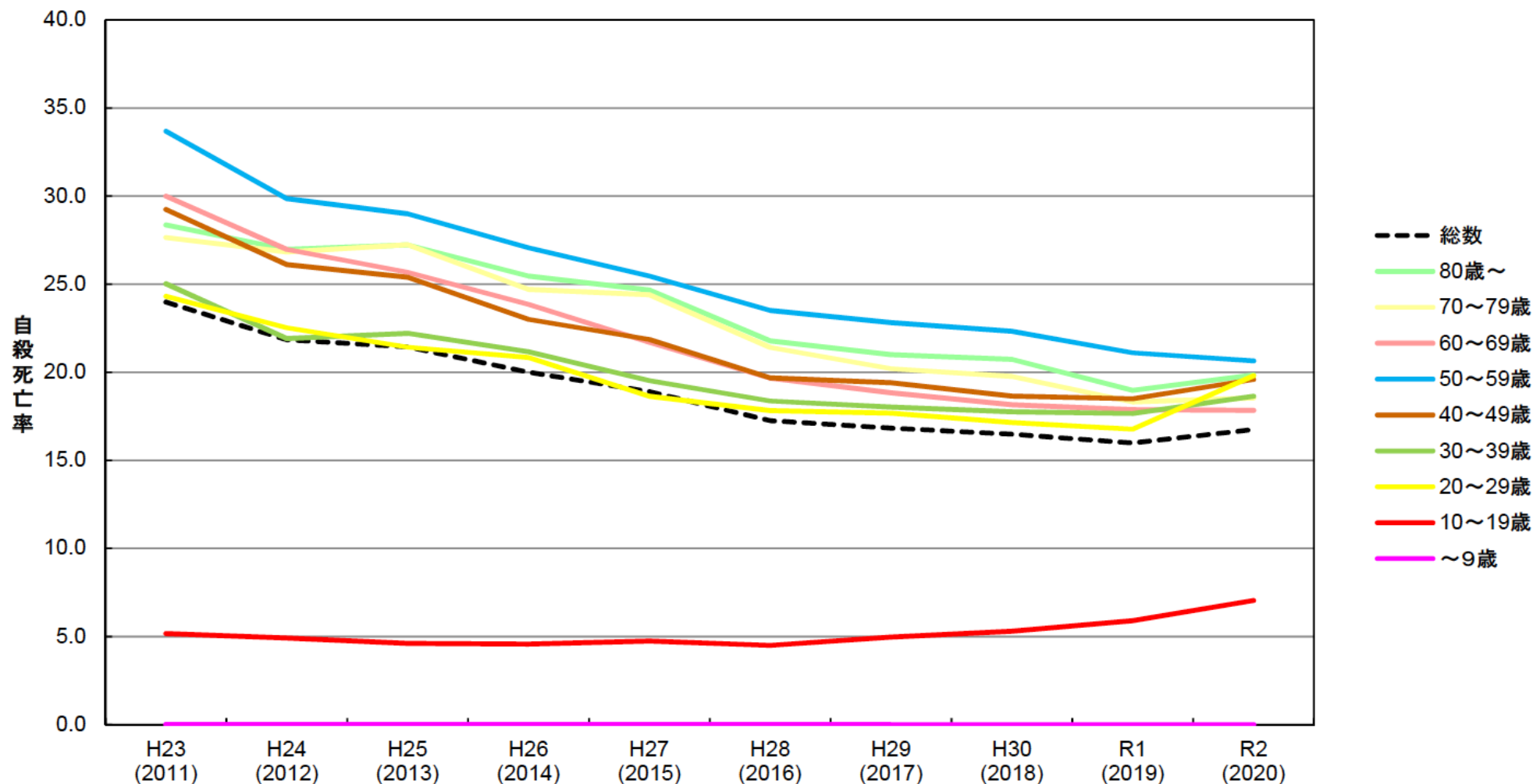
自己紹介

- 専門: 医療史、医療社会学、技術社会学
- 現在の関心: コロナ禍とコロナ後の若者の状況について
- 若者研究、インターネット研究、臨床心理学などの専門家と連携プロジェクトを構想中

年齢階級別自殺死亡率の年次推移

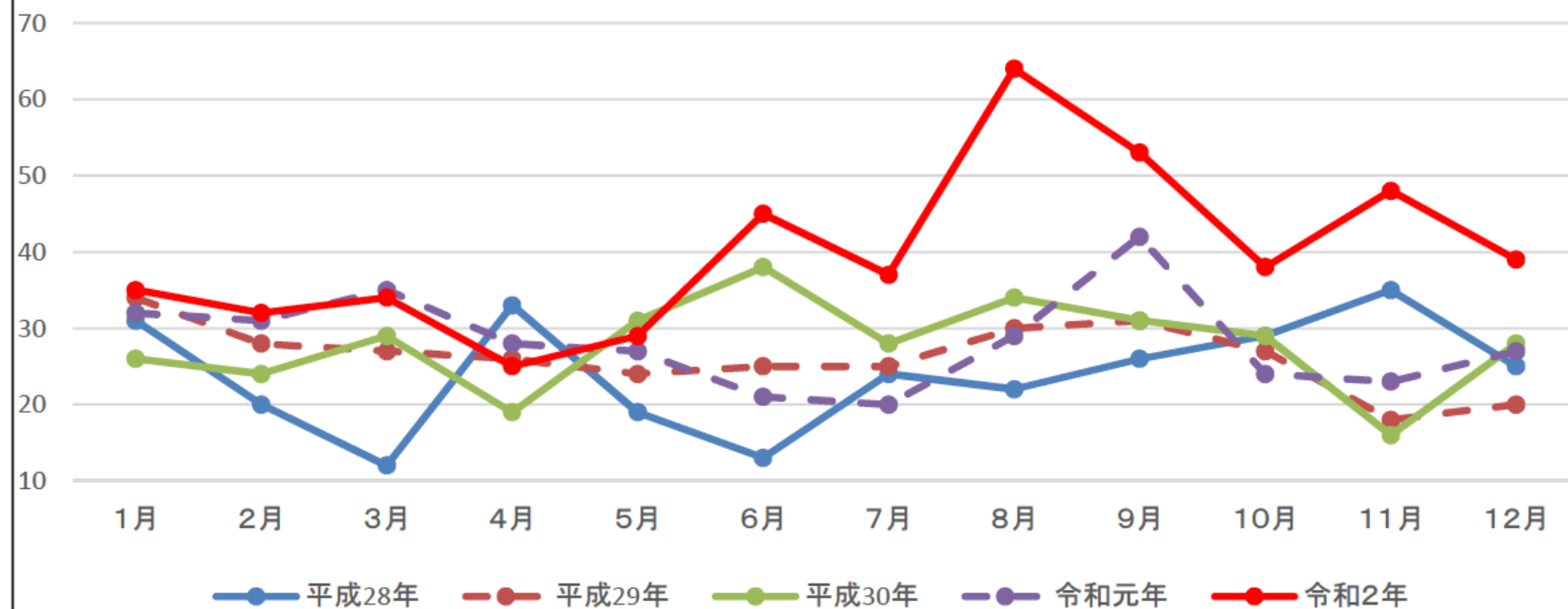
○令和2年は元年と比較して、50歳代及び60歳代以外の各年齢階級で上昇した。

○令和2年は元年と比較して、20歳代及び10歳代で大きく上昇し、それぞれ3.0、1.1ポイントの上昇となった。



資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」及び「国勢調査」より厚生労働省作成

児童生徒の自殺者数の推移



児童生徒の月別自殺者数の総数(小・中・高)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成28年	31	20	12	33	19	13	24	22	26	29	35	25	289
平成29年	34	28	27	26	24	25	25	30	31	27	18	20	315
平成30年	26	24	29	19	31	38	28	34	31	29	16	28	333
令和元年	32	31	35	28	27	21	20	29	42	24	23	27	339
令和2年	35	32	34	25	29	45	37	64	53	38	48	39	479

厚生労働省「自殺の統計:地域における自殺の基礎資料」(暫定値)を基に文部科学省において作成

Figure 2. Suicide and homicide death rates among children and adolescents aged 10–14: United States, 2000–2017

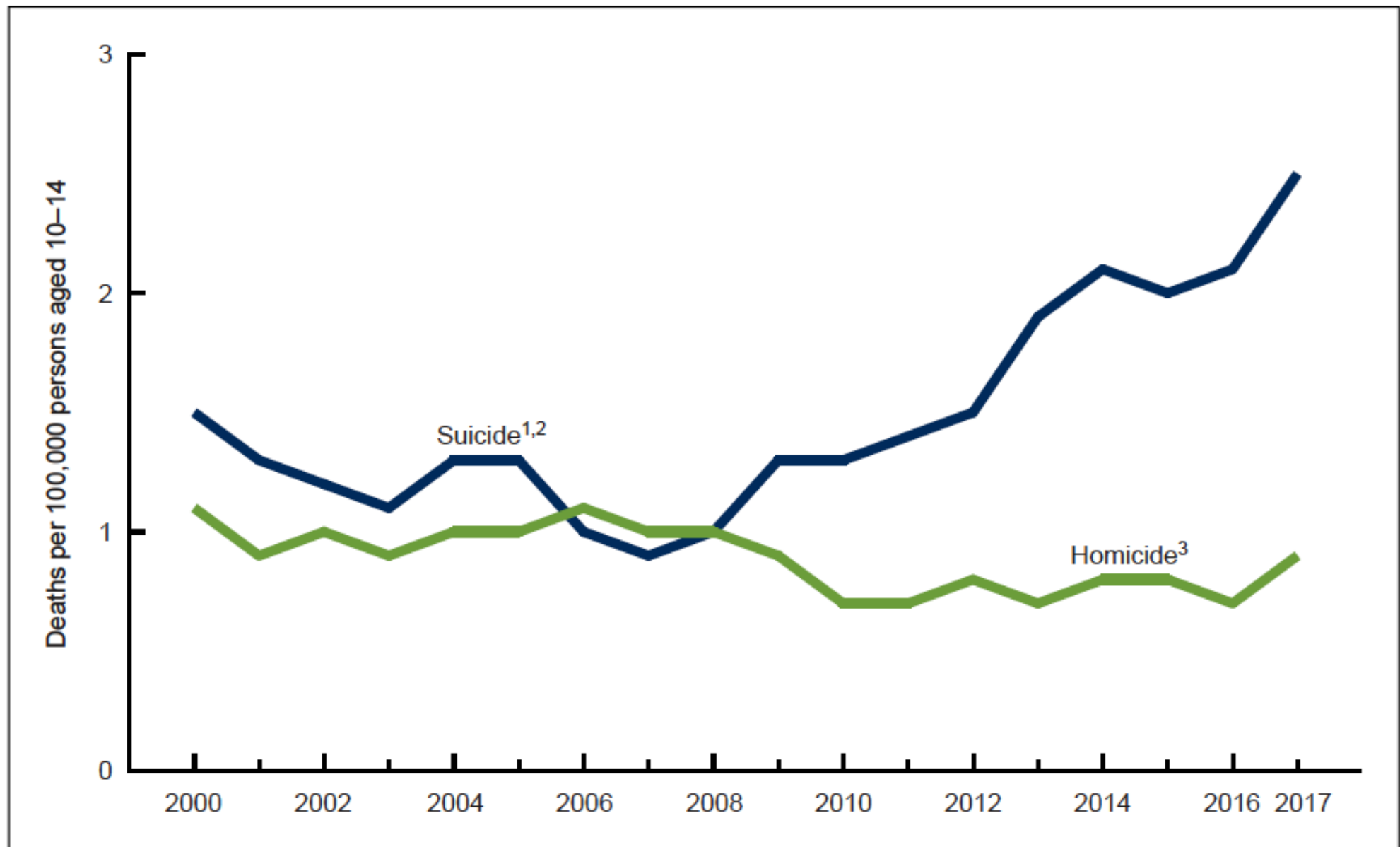


Figure 3. Suicide and homicide death rates among adolescents aged 15–19: United States, 2000–2017

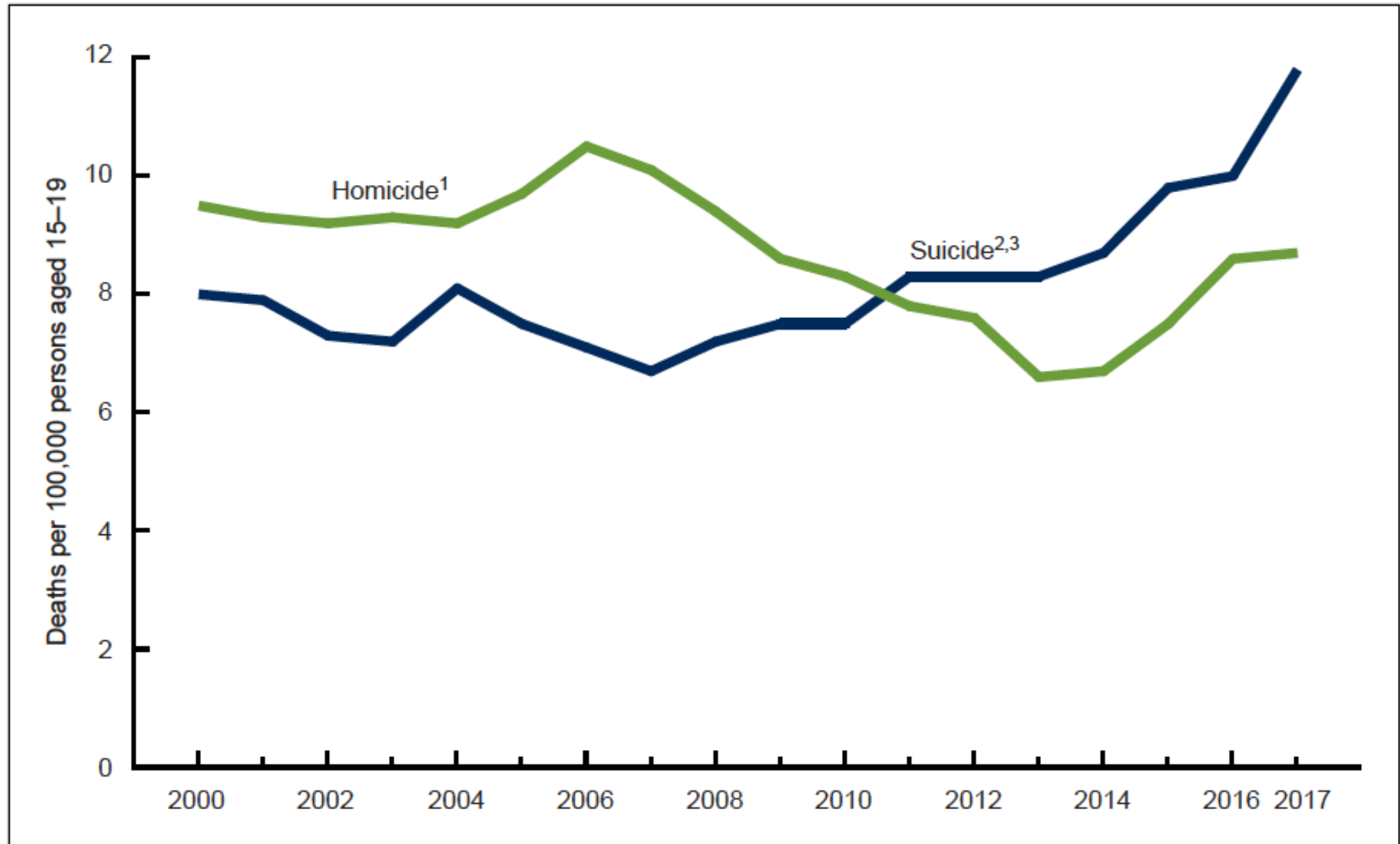
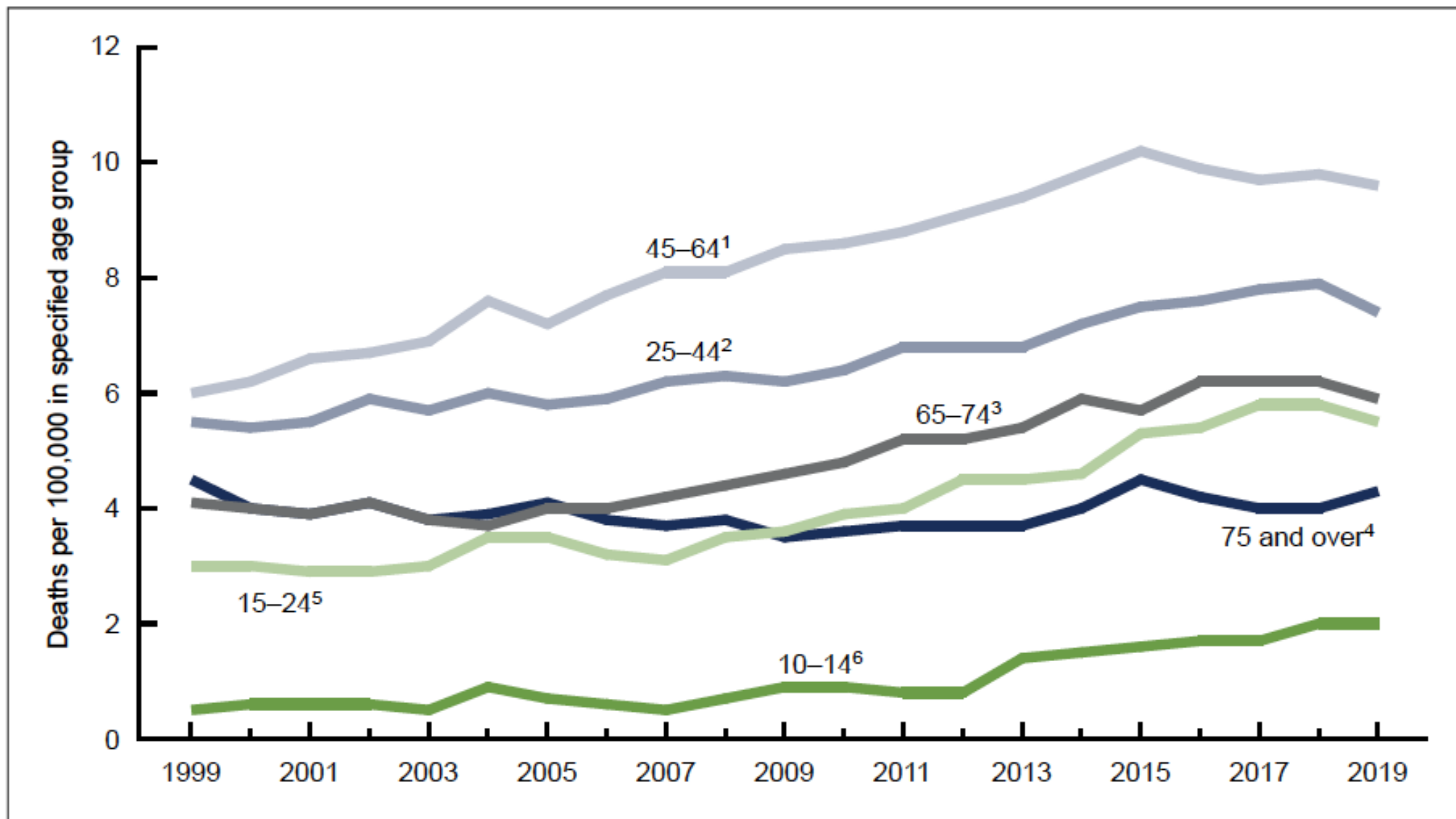


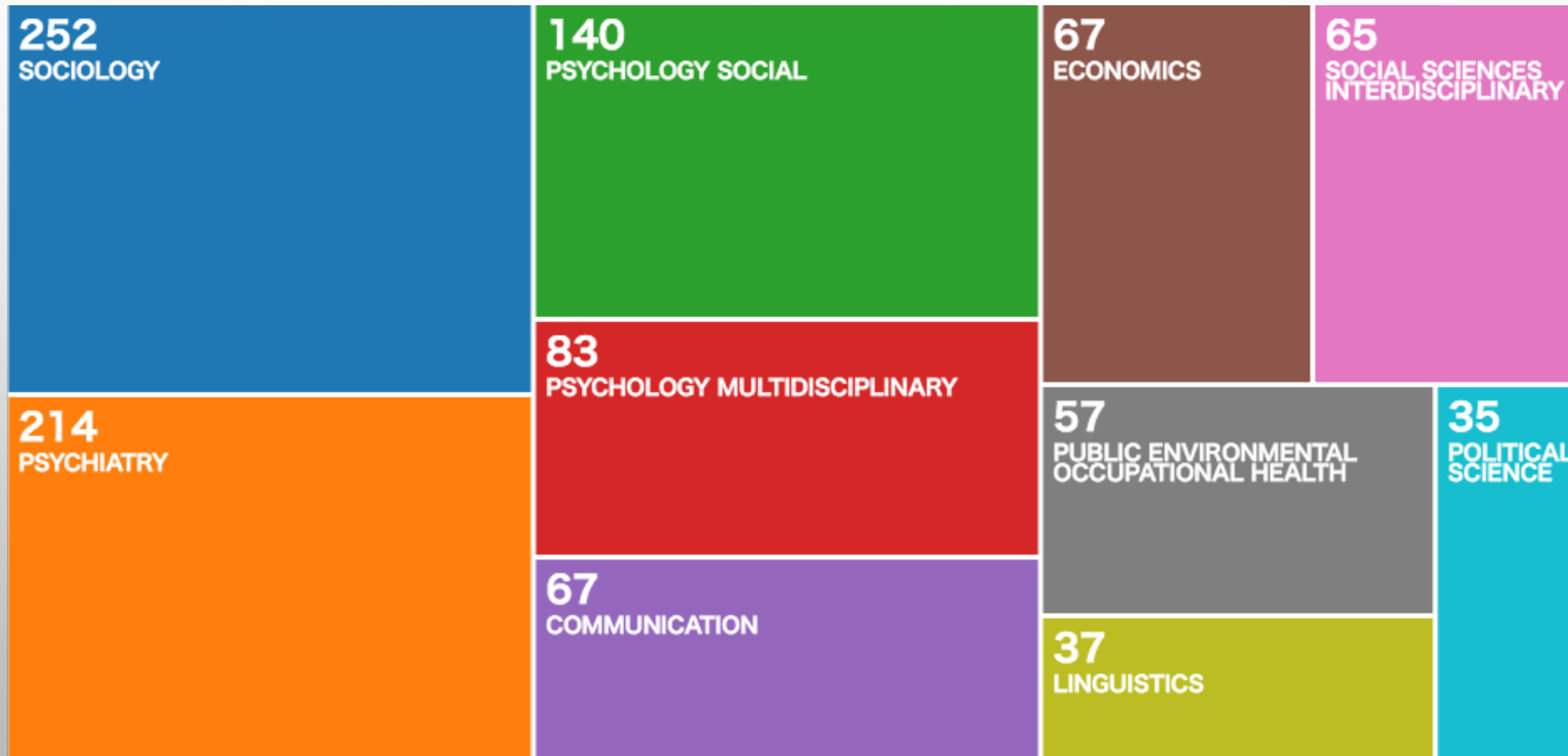
Figure 2. Suicide rates for females, by age group: United States, 1999–2019



SOCIAL DISTANCE?

- 社会学での用法
- ROBERT EZRA PARK. "THE CONCEPT OF SOCIAL DISTANCE AS APPLIED TO THE STUDY OF RACIAL ATTITUDES AND RACIAL RELATIONS." *JOURNAL OF APPLIED SOCIOLOGY* 8 (1924): 339-344.
- 人々の中の社会的距離(親密さの度合い)
- 社会的世界の異質さ(人種、職業、年齢、コミュニティー、ETC.)
- 特定の(多くの場合スティグマ化された)人々に対する社会的距離(人種、精神疾患、障害、性的マイノリティ、ETC.)

1900-2010のSOCIAL DISTANCEに関する論文



若者・SNS・SOCIAL DISTANCE

- “INTIMACY CAPITAL” (LAMBERT, A. 2016)
 - 他者との親密さが一種の資本になる
 - 従来の用語で言えば社会関係資本だが、ニュアンスが異なる
 - 可視化された親密さ＝ステータスとしての親密さ
- FACEBOOK DEPRESSION とマタイ効果
 - VICIOUS CIRCLE & VIRTUOUS CIRCLE (YOO, JH & JEONG, EJ, 2017)
 - SOCIAL COMPARISON ON SNS (YOON ET AL. 2019)

“KEEP SOCIAL DISTANCE”がもたらしたSOCIAL DISTANCE

- COMPARATOR (REFERENCE) DISTANCEの消失
 - あの人は呼ばれたのに私は呼ばれなかった
- 突如としてみな同じに(“PULLING TOGETHER” PHENOMENON)
 - みんな誰からも呼ばれない=NO INTIMACY, NO DISTANCE
- 夏休み効果＝物理的距離によって参照行為が遮断
 - 若者の自殺・メンタルヘルスがCOVID-19下で急激に悪化したという報告はない・・・しかし夏休みはいずれ終わる
 - 大規模な災害でも同じ傾向(大類ほか 2020)

COVID-19の収束がもたらす衝撃

- 両極化する学生
- 再開＝再会への高まる不安
- INTIMACYの復活がもたらすSOCIAL DISTANCE意識